

# サーキュラーエコノミー × 高機能素材分野の未来と今

新たな価値を目指して!

国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)では、企業ニーズを核として、地域大学(それに加えて、自治体、事業化支援機関、公設試等が参画する場合を含む)と産総研が持つ研究シーズを用いて共同研究を実施する場として整備した連携体制として**ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ(BIL)**を設立し、成果の橋渡しと人材育成を通じて、地域企業の事業化を支援し、地域経済活性化を目指しています。

本シンポジウムは、金沢工大・産総研先端複合材料BILを核にした連携の拡大ならびに石川県から北陸地域、そして全国展開へと成果普及の拡大を目的としています。そのため、産総研における材料・化学領域を始めとした技術シーズや社会課題の解決に向けた取り組みを紹介します。

日時 2024年

10月31日 木

13:00~18:00

会場 ANAクラウンプラザホテル金沢3F 鳳の間

定員 100名

主催 国立研究開発法人産業技術総合研究所 材料・化学領域マルチマテリアル研究部門

後援 石川県、北陸経済連合会、北陸産業活性化センター、  
金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター (ICC)、ほくりく先端複合材研究会

お問い合わせ マルチマテリアル研究部門シンポジウム事務局  
E-mail: M-mmri-symposium-ml@aist.go.jp

WEB  
申込

参加費無料

webサイト



## サーキュラーエコノミー×高機能素材分野の未来と今

<https://unit.aist.go.jp/mmri/ja/events/bil-mmri-sympo2024.html>

講演会プログラム	13:00～16:50	会場：鳳の間[3F]
13:00～13:05	開会あいさつ	
13:05～13:15	来賓あいさつ	
13:15～13:55	基調講演 <b>「複合材料の開発と脱炭素、サーキュラーエコノミーと資源循環」</b> 金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター 所長 ほくりく先端複合材研究会 会長 先端複合材料BIL プロジェクトマネージャー 鶴澤 潔	
13:55～16:50	研究講演 <b>「先端複合材料BIL」</b> 産総研 材料・化学領域 マルチマテリアル研究部門 研究部門長 先端複合材料BIL サブプロジェクトマネージャー 堀田 裕司 <b>「サーキュラーエコノミー構築に向けた産総研の取組み」</b> 産総研 研究戦略企画部 次長・PM(サーキュラーエコノミー) 材料・化学領域 副領域長 遠藤 明 <b>「産総研 MPI 有機・バイオ材料拠点を活用したサーキュラーエコノミーの技術実証場とエコシステムの構築」</b> 産総研 材料・化学領域 機能化学研究部門 有機材料診断グループ 研究グループ長 渡邊 宏臣 <b>「見える化センシングが拓く部材・素材の高性能と循環性—評価、予測、設計の革新へ—」</b> 産総研 エレクトロニクス・製造領域 センシングシステム研究センター 4Dビジュアルセンシング 研究チーム長 寺崎 正 <b>「微構造、製造条件を活用した材料特性予測AIの開発」</b> 産総研 材料・化学領域 マルチマテリアル研究部門 軽量金属設計グループ 研究グループ長 古嶋 亮一	

ポスター交流会	17:00～18:00	会場：鳳の間[3F]
	<ul style="list-style-type: none"><li>◆マルチマテリアル化を推進するために必要な材料開発、接合、信頼性評価、リサイクル技術の開発</li><li>◆資源循環型社会に向けた資源の高度利用技術とシステム評価技術の開発</li><li>◆DX・成形加工・接着接合・複合材料に関する研究開発と産学官連携の取組</li></ul> <p>この他にもICCの最新研究、産総研の地域センターやブリッジ・イノベーション・ラボラトリを中心に、企業ニーズに対応する技術ポテンシャル、産総研イチョシの技術シーズなど、あわせて約40点のポスターを展示予定</p>	

併催行事  
**見学会**

11月1日(金) 10:00～12:00

学校法人金沢工業大学 やつかほりサーチキャンパス 75号館  
革新複合材料研究開発センター (ICC)

〒924-0838 石川県白山市八束穂2-2

定員  
**先着40名**  
事前申込